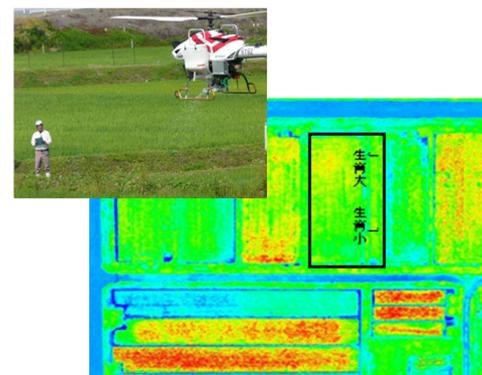


- 環境と調和した農林漁業の実現を目指し、**堆肥等の利用**や**スマート農業技術の活用**等による**化学肥料・化学農薬の使用低減**、**水田作の中干し期間延長**等による温室効果ガスの排出削減を推進するとともに、**消費者・実需者の環境保全型農業への理解醸成・消費拡大**を図る。

## 【作成主体】 岩手県及び県内全33市町村

## 【計画の主な目標】

- ・ みどりの食料システム法に基づく認定農林漁業者数  
6,000人・組織 (R8)
- ・ 有機農業に取り組む農家数  
100戸・組織 (R8)
- ・ 有機農業の取組面積  
450 ha (R8)



リモートセンシングによる  
生育に応じた適正施肥



防虫ネット及び天敵の利用による  
化学農薬の使用量低減

## 【取組のポイント】

- ・ 「岩手県肥料コスト低減技術マニュアル」に基づく適正施肥や堆肥利用、生物的防除等の組み合わせによる総合防除、スマート農業技術の活用等による化学肥料・化学農薬の使用低減の取組を推進
- ・ 農林漁業における省エネ設備導入や木質バイオマス等のエネルギー利用、水田作の中干し期間延長、家畜の飼料給与や排せつ物の適正管理等による温室効果ガスの排出削減の取組を推進
- ・ セミナーや交流会の開催、学校給食への食材提供等により消費者・実需者の環境保全型農業への理解醸成や消費拡大を促進



有機農業実践者と消費者の交流会の開催